



みふねいきいきフェスタ 2013

～健康を考えるのは今でしょ！～



11月17日、カルチャーセンターで「みふねいきいきフェスタ2013～健康を考えるのは今でしょ！」が開催されました。フェスタは、健康日本21健康増進計画「健康いきいき御船プラン21」プロジェクトとして、住民だけの実行委員会が企画運営を行いました。

フェスタの目的は、「年に1回、赤ちゃんとお年寄りまで、全ての人が集い、出会い、運動だけでなく、文化や芸術も含めて身体的にも精神的にも「いきいき」としてもらおう」というものです。オープニングセレモニーでは、くまモンが登場し、一緒にくまモン体操を踊りました。カルチャーセンターのホールでは、菊池養生園の竹熊宣孝先生の講演や、各団体

による踊りや演奏などが披露され観客を楽しませました。

また、各ブースでは、「竹

細工コーナー」や災害に備え

ての「非常食体験コーナー」

「赤ちゃんハイハイレース」

や「健康チェックコーナー」

など参加者たちは、あらためて健康について考える良い機会になったようでした。実行委員会の吉本洋委員長は「フェスタが、住民主体による健康づくりのきっかけとなり、行政が住民主体を支援するというカタチが実現した。これからも子どもから高齢者まで参加できるフェスタを続けて行きたい。」と抱負を話してくれました。



雨天中止のスポーツ大会

主催による、第12回御船町民スポーツ大会は開会式が行われ、長年、地域スポーツの振興に尽力された7人に感謝状が贈られました。また、水越地区の藤岡文人選手が選手宣誓を行いましたが、開会式終了後、降りだした雨により、全競技中止になりました。

温水プールの無料開放やス

ポーツ吹き矢、トランボリン

などのニュースポーツ体験は

行われました。

第36回 御船町文化祭

36回目の「御船町文化祭」が町文化協会(牟田佳一子会長)主催で、11月3日、4日、カルチャーセンターで開催されました。

3日は音楽部門として12団体が合唱や吹奏楽を発表し、最後は全員で「もみじ」を合唱しました。4日は茶道部門と芸能部門の、詩吟や舞踊など芸能62種目が発表されました。展示部門では、ホワイエや視聴覚室に、華道や書道、写真や俳句などが展示され、来場者は作品に足を止めて、芸術の秋を堪能しました。また、今年のウェルカム特別展示では、押し花教室の押し花展が展示されました。

